



新機能および変更された機能に関する情報

この章の内容は、次のとおりです。

- [このリリースの新規および変更情報, 1 ページ](#)

このリリースの新規および変更情報

次の表では、この設定ガイドでの重要な変更点の概要を示します。この表は、このマニュアルのすべての変更点、または特定のリリースのすべての新機能をまとめたリストではありません。

表 1: 新機能および変更された機能

機能	説明	追加または変更されたリリース	参照先
PTP の機能強化	複数ドメインでの PTP 設定、グランドマスター機能、インターフェイスの PTP コスト、およびクロック ID のサポートが追加されました。	6.0(2)A8(3)	複数の PTP ドメインの設定 PTP グランドマスタークロックの設定 インターフェイスでの PTP コストの設定 クロック ID の設定
DOM ログギング	DOM ログギングのサポートが追加されました。	6.0(2)A8(1)	DOM ログギングのイネーブル化
ソフトウェアメンテナンスアップグレード (SMU)	ソフトウェア メンテナンス アップグレード (SMU) のサポートが追加されました。	6.0(2)A7(2)	SMU について

機能	説明	追加または変更されたリリース	参照先
SPAN ガイドライン	SPAN しきい値についてのガイドラインおよび hardware profile buffer span-threshold <xx> CLI コマンドが追加されました。	6.0(2)A4(1)	SPAN および ERSPAN フィルタリングのガイドラインと制限事項
SPAN および ERSPAN	これらの機能に対する、フィルタリング、サンプリングおよびパケット切り捨て機能が追加されました。	6.0(2)A4(1)	SPAN および ERSPAN のフィルタリング SPAN および ERSPAN のサンプリング SPAN および ERSPAN の切り捨て
ERSPAN マーカー パケット	定期的なマーカー パケットの設定において、オリジナルの UTC タイムスタンプ情報を伝えて ERSPAN タイムスタンプを参照する機能が導入されました。	6.0(2)A4(1)	ERSPAN マーカー パケット
ERSPAN の設定	この機能が導入されました。	6.0(2)A1(1)	ローカル SPAN および ERSPAN の設定
PTP の設定	この機能が導入されました。	6.0(2)A1(1)	PTP の設定